



What's this?

こんごうしょ  
金剛杵





かぶと

兜

蝶前立付鉄六枚張桃型兜

# 舶来品と国産の合体

ヨーロッパ直輸入

日本製

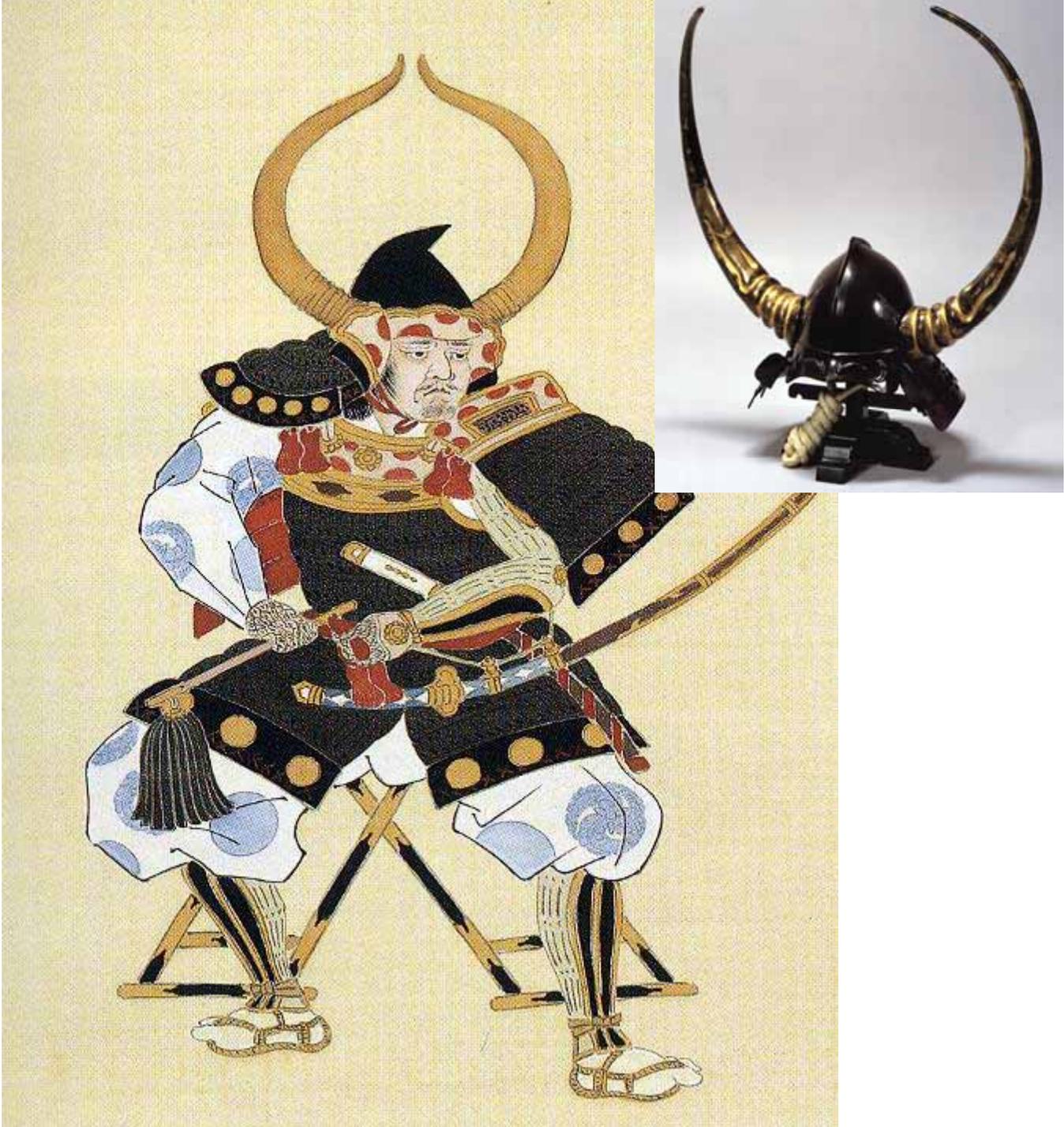


黒漆塗南蛮鉢齒朶前立兜



こんな不安定そうなカブト、ほんとに使ってたの？

黒田長政画像



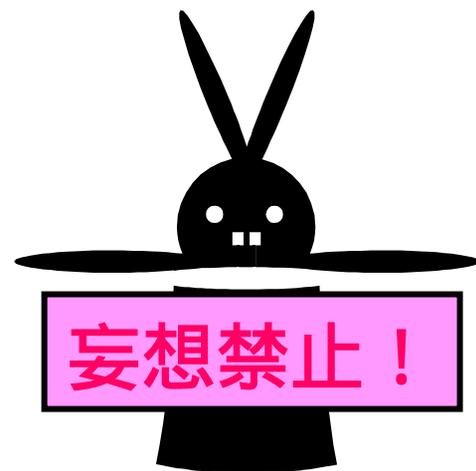


黒糸威胴丸具足



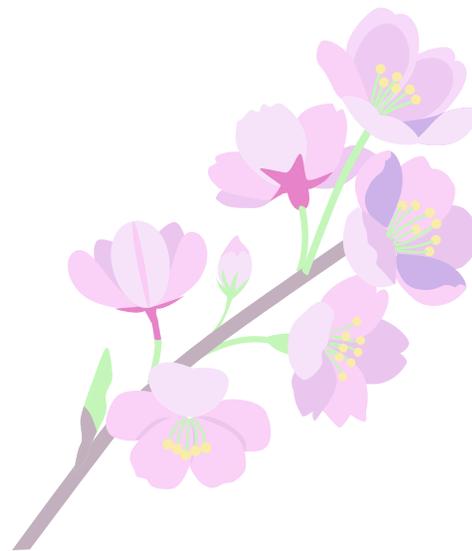
黒田長政画像

うさみみ



ここが花の咲かせ場所

めいっぱい飾り立てて戦場におもむいた男たち





長篠合戦図屏風より



石川伯耆守康昌

馬だつて、おしやれするんです。





## 課題その1

# Let's こすぶね!

一世一代の大いさ。

さて、どんな装いで戦場に赴きますか？

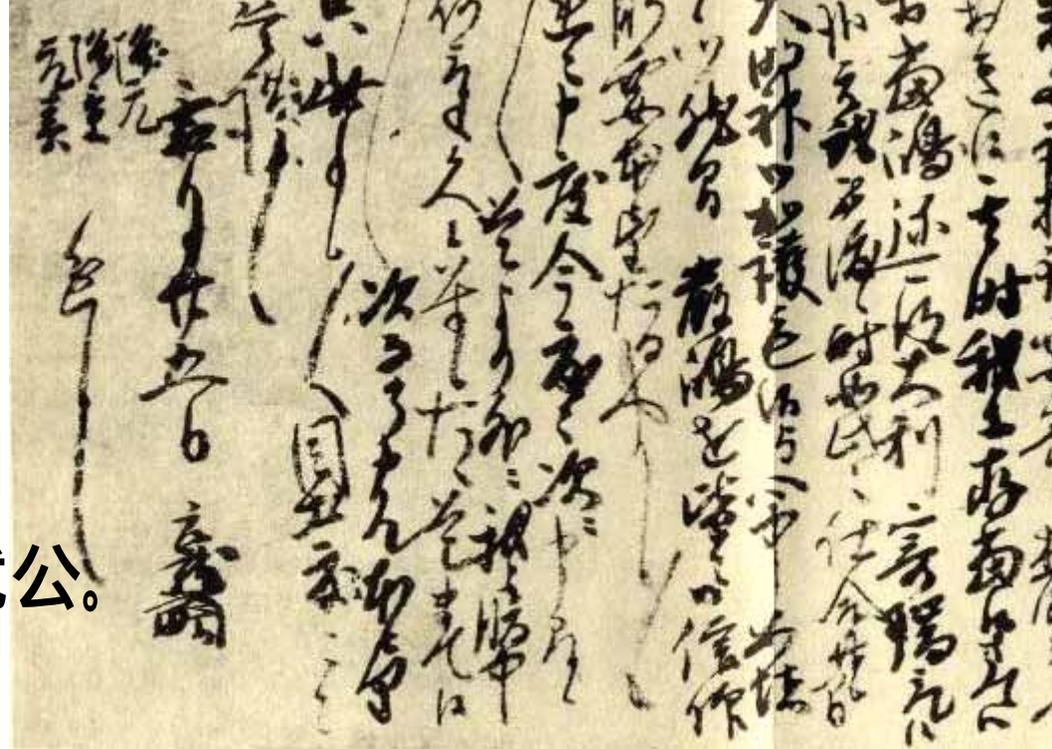
ここに気合いをこめるぞ！ という

自分独自の小道具をひとつ図示してください。



この部分にどうぞ。

子供たちに気を使って  
タイヘンだった老境の元就公。



今日はその若かりし日のさっそうとした姿を...

時は 1523年(大永3)

元就 27歳

人生の一大転機を迎えようとしていた。

弘元

元就

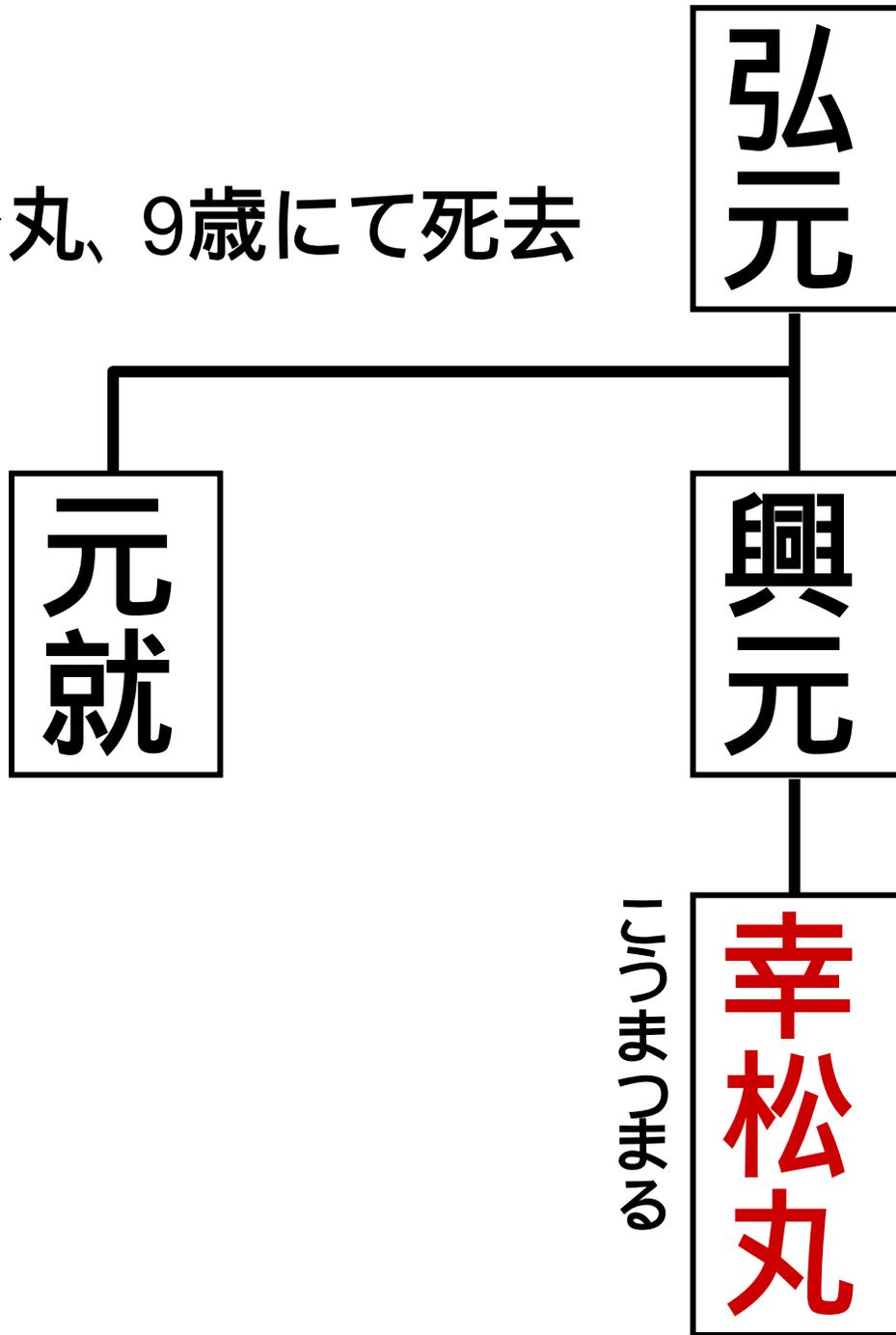
興元

幸松丸

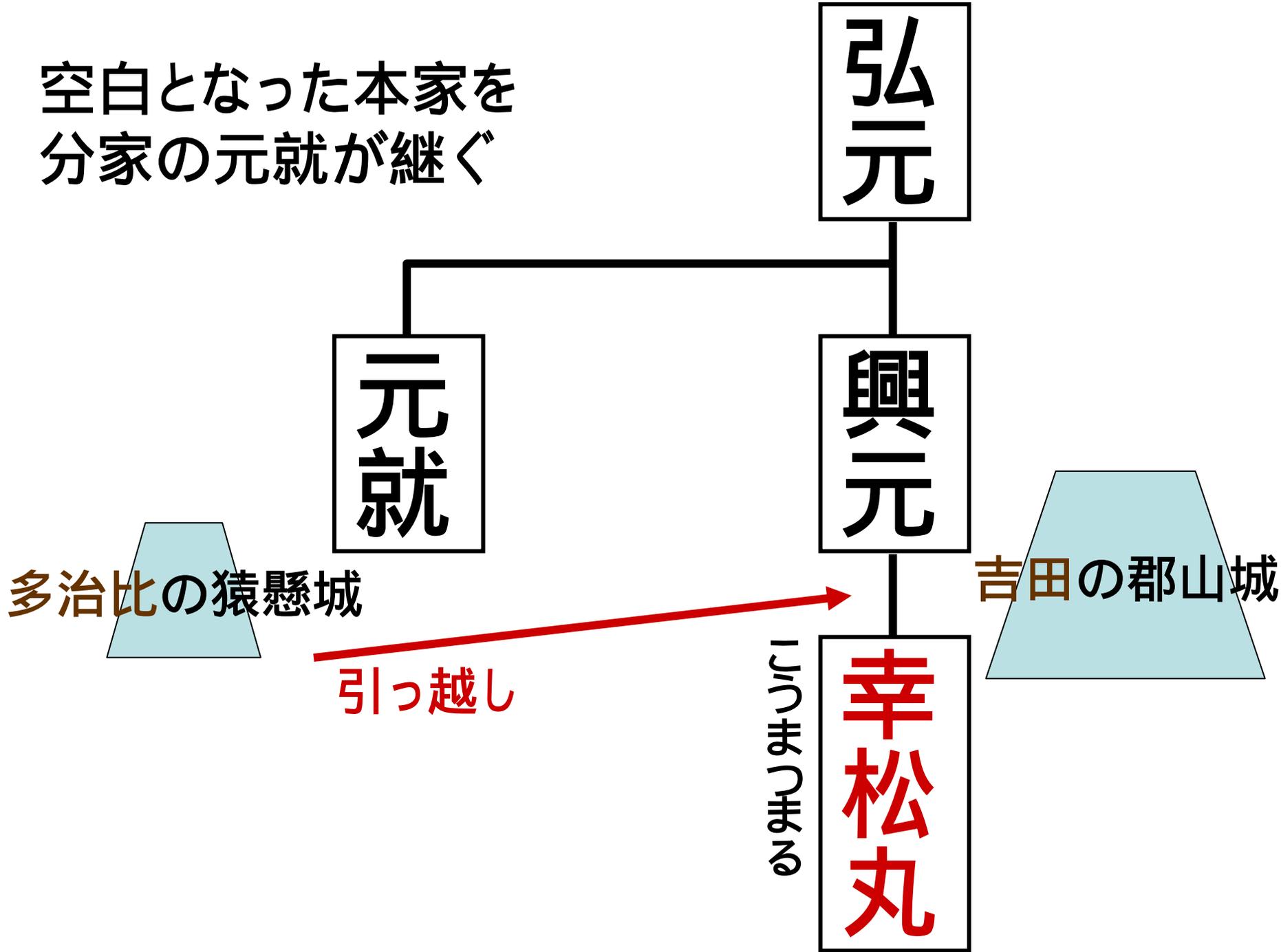
源朝臣賴朝

7月15日

本家の幸松丸、9歳にて死去



空白となった本家を  
分家の元就が継ぐ



この家督相続に関わる文書が、  
毛利家に4通残されている。

そこから読みとれる意外な真実

**4つの文書の矛盾点を探せ！**

A

毛利元就の日記

七月十九日

志道広良（しじひろよし＝本家の宿老）の使者たちがやってきて、毛利家の家督を相続してくれとばかりに懇願したので、承知した。

七月二十六日（いったん二十五日  
と書いて修正してある）

宿老たちの連署状（Cを指す）が  
届けられた。

八月十日

本城の吉田へ入城した。

七月十九日

志道広良（しじひろよし＝本家の宿老）の使者たちがやってきて、毛利家の家督を相続してくれと、きりに懇願したので、承知した。

七月二十六日（いったん二十五日と書いて修正してある）宿老たちの連署状（Cを指す）が届けられた。

八月十日

本城の吉田へ入城した。

B

本家の宿老志道広良に宛てた  
あるお坊さんの書状

(七月二十五日付)

占いの結果、元就様が吉田へ御入  
城なさるのは、八月十日が吉と出  
ましたので、ご報告申し上げます。

C

元就に宛てた

本家の宿老たち十五名の連署状

(七月二十五日付)

幸松丸様がお亡くなりになりましたので、どうか元就様が家を継いでください、とお願ひ申し上げましたところ、お聞き届けいただき、ありがとうございます。

つきましては、どんなことでも御命令に従います。

D

Cを多治比の元就に届けるよう、  
志道広良が家臣井上に命じた書状

(七月二十七日付)

この連署状を多治比へ持参するよ  
うに。

すべては昨日申したので、手紙を  
書いた。

あれ？ おかしいぞ～

**日付が矛盾する！**

A 元就の日記

C が到着したのは7月26日

D 志道の書状

C を発送したのは7月27日

ウソつきは、どっちだ？

七月十九日

志道広良（しじひろよし＝本家の宿老）の使者たちがやってきて、毛利家の家督を相続してくれと、きりに懇願したので、承知した。

七月二十六日（いったん二十五日と書いて修正してある）宿老たちの連署状（Cを指す）が届けられた。

八月十日

本城の吉田へ入城した。

七月十九日

志道広良（しじひろ

宿老）の使者たちが

毛利家の家督を相結

きりに退願したので

日付をわざわざ  
修正している

知した。

くれとし

てきて、

「本家の

七月一 六日（いつたん二十五日

と書は 修正してある）

宿老の連署状（こを指す）が

届けられた。

八月一

## たった3日分だけの日記

本城の吉田へ入城した。

あとから作った日記では？

D

Cを多治比の元  
志道広良が家臣

けるよう、  
命じた書状  
二十七日付)

この連署状を多治

参するよ

うに。

文意不明  
定例文と違う言い回し

すべては昨日申したので、手紙を  
書いた。

D

Cを多治比の元就に届けるよう、

志道広良が家臣井上に命じた書状

(七月二十七日付)

この書

は、

すべし

書いた

毛利家でなく  
井上家に残るはずの文書

多治比へ持参するよ

う申したので、手紙を

## A 元就の日記

## の不自然

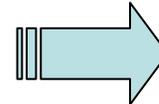
3日分だけの日記

日付を修正している

## D 配達依頼状

## の不自然

毛利家に残るはずはない



文意不明

## B お坊さん書状

も怪しい

今まで疑われずにきたけれど・・・

家督相続に関わるこの4通セットの文書は  
偽造されたり(日記)  
他の家から持ってきたり(書状)して  
**操作**された可能性

なんのため？

4通の文書が強調しているポイントは…

A

毛利元就の日記

七月十九日

志道広良（しじひろよし＝本家の宿老）の使者たちがやってきて、毛利家の家督を相続してくれとばかりに懇願したので、承知した。

A

毛利元就の日記

七月十九日

志道広良（しじひろよし＝本家の宿老）の使者たちがやってきて、毛利家の家督を相続してくれとばかりに懇願したので、承知した。

C

元就に宛てた

本家の宿老たち十五名の連署状

(七月二十五日付)

幸松丸様がお亡くなりになりましたので、どうか元就様が家を継いでください、とお願い申し上げましたところ、お聞き届けいただき、ありがとうございます。

つきましては、どんなことでも御命令に従います。

C

元就に宛てた

本家の宿老たち十五名の連署状

(七月二十五日付)

幸松丸様がお亡くなりになりましたので、どうか元就様が家を継いでください、とお願ひ申し上げましたところ、お聞き届けいただき、ありがとうございます。つきましては、どんなことでも御命令に従います。

みんなに懇願されて家督を相続した



その逆が真実なのでは

## 日付の矛盾 文書操作の発見から立つ推測

元就の家督相続は、みんなに懇願されて、  
という甘いものではなく、  
実力行使でもぎとったのではないか

異母弟の元綱と家督を争い、  
攻め滅ぼした、という伝承もある。

C

元就に宛てた

本家の宿老たち十五名の連署状

(七月二十五日付)

幸松丸様が  
たので、ど  
でください  
したところ  
ありがとうございます

低姿勢すぎ  
元就が脅して書かせた可能性

かなりになりまし  
丸就様が家を継い  
願い申し上げま  
届けいただき、  
います。

つきましては、どんなことでも御  
命令に従います。

「みんなに懇願された」と  
後世に信じてもらうために、  
4通の文書のみが選ばれ、残された。

仕掛け人は…

B

本家の宿老志道広良に宛てた  
あるお坊さんの書状

(七月二十五日付)

占いの結果、元就様が吉田へ御入  
城なさるのは、八月十日が吉と出  
ましたので、ご報告申し上げます。

志道広良がもらった書状

D

Cを多治比の元就に届けるよう、

志道広良が家臣井上に命じた書状

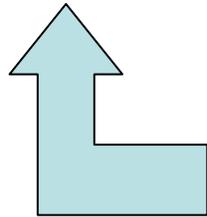
(七月二十七日付)

この連署状を多治比へ持参するよ  
うに。

すべては昨日申したので、手紙を  
書いた。

志道広良が出した書状

「みんなに懇願された」と  
後世に信じてもらうために、  
4通の文書のみが選ばれ、残された。



仕掛け人は  
志道広良 と推定

# 文書という歴史史料のおもしろさ



偶然に残ったのではなく **意図**して残された

# 文書という歴史史料のおもしろさ

ウソつき

偶然に残ったのではなく **意図**して残された

その「意図」をあぶり出すことで  
歴史の真相に接近できる

そして30年近くが過ぎ 1551年(天文20)

**元就 55歳**

また、人生の一大転機を迎えようとしていた。



山口の大々名 大内義隆

おおうちよしたか

毛利氏の強力な保護者

天文20年(1551)年9月

家臣陶晴賢の謀反により大内義隆滅びる

すえ はるかた

元就、陶晴賢と協同歩調をとる

弘治元年(1555)年10月

元就、厳島合戦にて陶晴賢を滅ぼす



毛利氏、中国地方一の大々名へ

けっきょく、いちばん得をした元就・・・

その幸運は偶然だったのか？



大内 義隆

相良 武任

さがら たけとう

陶 晴賢

すえ はるかた

不和

九州に逃亡し、主君大内義隆に宛てて  
長い弁明状Eを送る

E

主君大内義隆に宛てた相良武任の  
長い弁明状写の一部

(天文二十年正月五日付)

一昨年、毛利元就が山口に下向し  
たのも、晴賢と談合するためで、  
毎晩晴賢の使者が、こっそりと毛  
利の旅宿へ文箱を持って通ってい  
たそうにございます。

E

主君大内義隆に宛てた相良武任の  
長い弁明状写の一部

(天文二十年正月五日付)

一昨年、毛利元就が山口に下向し  
たのも、晴賢と談合するためで、  
毎晩晴賢の使者が、こっそりと毛  
利の旅宿へ文箱を持って通ってい  
たそうに書いています。

やはり元就は陶晴賢と共謀していた

この弁明状写が、なぜ毛利の家に残ったかを考えてみる・・・

九州から大内義隆にひそかに届けられた機密文書の写しを、なぜ毛利氏が持っているのか？



大内 義隆

E



九州に逃亡し、主君大内義隆に宛てて長い弁明状Eを送る

相良 武任

さがら たけとう

不和

陶 晴賢

すえ はるかた

毛利 元就

E-copy

文書の伝来経路を推理すると、陶と毛利の共謀関係が明らかになる。



大内 義隆

スパイして  
情報入手

E-copy 1

陶  
晴賢

通報

毛利  
元就

E-copy 2

不和

E

相良  
武任

さがら  
たけとう

九州に逃亡し、主君大内義隆に宛てて  
長い弁明状Eを送る

F

吉川元春に宛てた陶晴賢の書状

(天文十九年八月二十四日付)

義隆と私の仲が決裂したから、義隆の若子を取り立てようと思う。

どうか協力してくれ。望みがあれば叶えて進ぜるから。

謀反の誘い

吉川＝毛利家に大内への謀反の志がなければ、この文書はただちに大内義隆に届けられたはず。

やはり元就は陶と共謀して大内氏を滅ぼしたのだ。

陶晴賢を滅ぼしたあと、陶と共謀していた証拠書類は、すべて破棄されたが…

E

長い弁明状のほんの一部なので、見落とされた

F

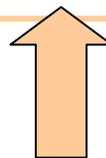
分家に残ったので、見落とされた

# 文書という歴史史料のおもしろさ

ウソつき

偶然に残ったのではなく **意図**して残された

消えた



消された

その「意図」をあぶり出すことで  
歴史の真相に接近できる

## 課題

ダマされる側からダマす側へ！

あなたは毛利元就。ダークな過去(創作可)があるけれど、文書をたくみに操作して歴史を美化ないし偽造し、家の繁栄を期したい。どうしますか？ 具体案を提示してください。

字数は150～200字程度  
解答時間は5分です。

講義中に出された上記の課題に対し、  
230人の東工大生が真剣に考えて提出したなかから、  
個性ゆたかな14の作品を選んでお届けします。

「補足資料」をごらんください。